

金沢の神社にて御朱印集めツアー

団体名●おもてなし小娘／代表者名●畑中南海(短期大学部経営実務科2年)

はじめに

この活動のきっかけは、メンバーの一人が神社で巫女をしており、観光で神社を訪れる外国人は多いものの、神社での作法や礼儀、ルールをあまり理解していないことに気が付いたことである。外国人に日本の文化である神社での作法を知って頂くことが目的であり、さらに、作法を教えるだけでは外国人が大きな魅力を感じることが出来づらいと考え、現在日本でブームとなりつつある御朱印巡りツアーをメインにしようという案が出た。県内の海外誘客活動の機運醸成や観光に関するグローバル人材の育成を目指した、大学コンソーシアム石川の「2019年度学生による海外誘客チャレンジ事業」に応募し採択され活動が本格的に始まった。

活動内容

まず、神社側は外国の方が神社を訪れることをどう思っているのか、外国人側は神社に対してどのように思っているのかを金沢の主要な神社(尾山神社、石浦神社、金澤神社、石川護國神社)において調査した。

次に参拝方法や手水の仕方などをまとめたプロモーションビデオ(長編・短編)を作成しそれぞれYouTube、Instagramで公開するとともにFacebookでもアカウントを作成した。また神社の参拝作法をイラスト付きで英語で説明したリーフレットを神社に配布した。

10月6日にプレツアーを行った。台湾、中国、インドネシアからの金沢星稜大学の留学生7名とオーストラリア人3名、計10名の方にツアーに参加して頂いた。本番同様、尾山神社、石浦神社、金澤神社、石川護國神社の順に4つの神社を廻った。神社へお参りする前に、御朱印帳について説明をした。そして、作成した神社の作法をまとめたPVを見て頂き実際に神社で手水や、参拝方法を実践して貰い御朱印を頂いた。

プレツアーでの反省点をふまえ、10月14日にツアーを開催した。Instagram、FacebookなどのSNS

での告知により事前に数名申込者があった。当日には金沢駅前、尾山神社前にて集客を行い、結果、オーストラリア、インド、オランダ、英国、ベトナム、フランス出身の外国人参加者は計13人に上った。プレツアー同様、御朱印帳の説明をし、YouTubeを見て作法を学んで頂いてから4つの神社を廻る御朱印ツアーを開催した。金澤神社では宮司さんから金城靈沢、神道についての説明を英語でして頂いた。

成果、結果の考察

神社を回るにつれて、外国人参加者の参拝の姿勢がどんどんきれいになっていき、主催者側である私たちが感動を貰った。参加者同士が仲良くなり、新しい交流の場を作ることができたのも喜ばしかった。改善点としては、各神社やその建造物についてもっと詳しい説明をして欲しいという意見が事後アンケートで寄せられた。

今後の課題、展望

終了後の参加者アンケートでは今後もこのようなプログラムを継続的に開催して欲しいとの声が多かった。手水の作法、参拝作法、および神道の説明だけでもツアーとしては十分に成り立つのではないかと思われ、後輩には同様のツアーを企画し今後に繋げて行ってもらいたい。



御朱印集めツアー (10月14日実施)